

第4回厚生常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年6月30日（月曜） 午前 9時30分		
	休憩時間		
	午前10時33分		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 岡崎榮太郎	委 員 唯野 義勝	
	副委員長 高橋 仁美	委 員 吉田 敏郎	
	委 員 高橋 源		
			議長 広瀬重雄（欠席）
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	局長 西科 純	次長 剣持 和裕	
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局長から本日の委員会の日程について説明する。			
2 議 件			
(1) 調査事項			
ア 議会基本条例のH25委員会評価について			
イ H26厚生常任委員会の政策軽視サイクル選定事業について			
3 その他			
(1) 次回委員会の開催日時について			
(2) その他			
<hr/>			
2 議 件			
(1) 調査事項			
ア 議会基本条例のH25委員会評価について			
・事務局長から説明後、意見を述べ合い評価を行った。			
・第2章			
第4条			
(1) について			
・高橋（仁）委員：資料公開は十分に行った。質疑はしたが、自由討議は不足していた。			
・唯野委員：議員感覚と町民感覚にかい離がある。			
・吉田委員：インターネット公開をしてきたので公開は十分だと思うが、議員間討議では論点・争点を明確にできず自分としては力量不足を感じている。			

- ・高橋（源）委員：自由討議は委員長の進め方次第である。AとBの意見は異なるということを引き出すと、議論は活性化する。
- ・委員長：資料公開については、インターネットを通じ、十分公開してきたが、自由討議については不足していた感があり、委員長の進行具合により、論点・争点化を明確にし、活性化すべきであるとまとめる。

(2) について

- ・唯野委員：行政課題について、各種団体とも意見交換会を開催するなど十分行ってきた。
- ・吉田委員：団体との意見交換会を開催し、十分果たせた。
- ・委員長：行政課題については、各種団体と意見交換会を開催し、概ね達成したとまとめる。

(3) について

- ・吉田委員：効率的な議事運営については、事務局とも相談し果たしたのではないか。
- ・高橋（源）委員：自由討議については進行面では活発とはいえない。
- ・唯野委員：議事進行で活発化には向けなかったが、正副委員長が協議し整理しながら進めてきたのではないか。
- ・事務局長：正副委員長会議は、3委員会の中ではしっかり行っていた。また、事前に正副委員長が原課に足を運び、事務調査の打ち合わせをしっかり行っていた。
- ・委員長：議事進行で議員間討議を活発化できなかった面はあるが、必ず正副委員長会議を事前に開催し、原課にも足を運び、事務調査の打ち合わせを行ったとまとめる。

(4) について

- ・吉田委員：どのくらい委員長報告を作成したか。
- ・委員長：全委員会において会議記録を作成している。
- ・唯野委員：陳情などで合意形成に努めてきている。
- ・委員長：論点・争点を明確にする点では、できていなかったもので反省している。
- ・委員長：自由討議が不十分であったことについては反省しているとまとめる。

第5章

第16条4項

- ・吉田委員：議員相互の自由討議は、執行機関側の説明後、胎生期を求め、論点・争点を整理してはどうか。
- ・高橋（源）委員：陳情は委員会に付託されるので、議論は尽くしたといえる。議員提出議案はできなかった。
- ・委員長：陳情は十分審査し、議論を尽くし合意形成できたが、議員提出議案までには至らなかったとまとめる。
- ・事務局長：政策形成サイクルの件は、本日1件決定したが、厚生常任委員会には重要案件が多い。今後も模索する必要がある。

イ H26 厚生常任委員会の政策形成サイクル選定事業について

- ・事務局から説明後協議を行い、「資源ごみの持ち去り条例」の提案を視野に入れ、調査していくことに決定する。
- ・高橋（仁）委員：町民にとっては関心のあることだろうと考える。北広島市を調査する必要があると考える。
- ・吉田委員：1件あたり600円とすると、4,800千円くらいの被害額とすると調査することに意義がある。
- ・高橋（源）委員：防止か罰則か調査しながら提案することはいいのではないか。
- ・唯野委員：関心もあり、調査はいいが、芽室町に合った分別を決定していることもあり、町内の被害額を調査してはどうか。視察ありきではない。
- ・委員長：「資源ごみの持ち去り」を議会政策形成サイクルの事業の1つとして決定する。視察するかどうかについては、調査しながら判断する。
- ・事務局次長：補正予算計上のリミットは、8月上旬までとなる。

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日時について
正・副委員長に一任と決定。
- (2) その他

以上をもって、特別委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

平成26年6月30日

厚生常任委員会委員長 岡崎 榮太郎